

### 第3回（次期）北九州市障害者支援計画策定委員会

#### 支援体制整備部会（会議要旨）

日 時	平成23年11月15日（火）18:30～20:10
場 所	総合保健福祉センター6階 視聴覚室
出席委員 （12名）	糸長委員、伊野委員、梅本委員、江上委員、大曲委員、酒井委員、 未安委員、高崎委員、山田委員、山根委員、オブザーバー 柴田委員、 オブザーバー 古川委員
欠席委員 （2名）	井田委員、原田委員
事 務 局	【保健福祉局】 障害福祉部長、障害福祉課長、地域移行・精神保健福祉担当課長、 障害福祉センター所長、精神保健福祉センター所長 【関係課】 子ども家庭局子ども家庭政策課長、教育委員会特別支援教育課長
次 第	1 開会  2 議事 （1）「（仮称）北九州市障害者支援計画」【素案】について  3 閉会

会 議 経 過	
発言者	発 言 要 旨
事務局	<p>【開会】</p> <p>ただ今から第3回「(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会支援体制整備部会」を開催する。</p> <p>より市民の皆様の声を反映させるため、オブザーバーとして柴田委員及び市政モニターの古川委員にもご出席いただいている。</p> <p>本部会で審議する項目は、「(仮称)北九州市障害者支援計画【素案】」である。なお、この部会では本日が最後の部会となっていること、委員の皆様から議論を長く取ってほしいとのご意見をいただいたことから事務局からの説明は最小限とさせていただく。</p> <p>本部会の公開について、策定委員会と同様に公開とさせていただく。なお、会議終了後は、会議録を作成し、市のホームページに掲載して市民の皆様へ情報提供させていただくので、ご協力をお願いします。</p> <p>なお、本日は、井田委員、原田委員が所用のため欠席である。</p> <p><b>配布資料確認</b></p> <p>この後の進行は、部会長をお願いします。</p>
部会長	<p>【議事】</p> <p>それでは、議事に沿って進めてまいりますので、委員の皆様にはご協力をお願いします。</p> <p>【(仮称)北九州市障害者支援計画【素案】について】</p> <p>議事(1)の「(仮称)北九州市障害者支援計画【素案】について」、事務局から説明をお願いします。</p>
障害福祉課長	<p><b>資料に基づき事務局説明</b></p>
部会長	<p>今回が最後の部会なので、委員の皆様全員にご意見をお願いします。</p>
委員	<p>次期支援計画の案について、「検討をします」という言葉が多く感じている。</p> <p>総合的な相談窓口として、基幹相談支援センターの整備にはとても期待している。他県等に比べて、北九州市の福祉はとても充実していると思っているが、さらに良い支援体制の整備ができて、対象者への情報提供等がどれだけ周知できるかということと、障害の理解と啓発ということが一番難しい課</p>

	<p>題と思っている。</p> <p><b>委員</b> 発達障害の人たちに対し、かなり進んだ方向で書いていただいていることに感謝している。</p> <p>発達障害について、手帳でいうと、療育手帳や精神障害者保健福祉手帳しかないので、発達手帳というようなことも、国においても少し議論がなされていくとは思いますが、それについてどこにも反映されてないので、そのような視点で踏み込んだところがあっても良いのではないかと感じた。</p> <p><b>委員</b> 「障害のある人を支援する施設や事業所等における障害のある人の賃金・工賃アップを図る」という文言に対して、実現できるようにがんばっていただきたい。</p> <p>また、知的障害のある人の市役所における職場実習についての項目であるが、知的障害のある人のみを対象とするのか。身体障害の人たちの実習については考えていないのか。</p> <p>難病の実態調査の結果において、障害福祉サービスなどいろいろな部分で利用されていないのが多い気がした。これから難病の方の利用が増えるような制度になっていければうれしいと思う。</p> <p><b>委員</b> 北九州市として、精神障害者施策及び他の障害者施策をどうするかが一番重要ではないかと思う。特に、精神障害の場合は、差別と偏見でいろいろな事件が起こり、その事件が起こるたびに精神障害者は白い目で見られている。テレビ等で、精神障害者が地域で生きているということを流し、差別と偏見を取り除いていただけたらと思っている。</p> <p><b>委員</b> 発達障害について、いろいろな方面から支援の方法を考えていただいているありがたいと思っている。特に余暇活動について、取り上げられたというのうれしいと感じている。今年8月の障害者基本法の改正において、発達障害が精神障害の中に入ようになった。このあたりが少し施策の中に反映していただけたらよかったと思う。</p> <p>「コミュニケーション支援が必要な障害のある人へ対応する相談員の配置」ということで、相談員の「配置を検討する」となっている。基幹相談支援センターは全ての窓口になるので、「配置します」と言い切ってもらいたいと思った。</p> <p><b>委員</b> 重症心身障害の方の文言があまりないということが、少し気になるころではあった。</p>
--	---

委員	<p>相談支援の充実については期待できると感じている。それから、精神障害者に関しては、いろいろと取り上げていただいているが、差別と偏見がなくなり、根本的な解決には程遠いという感じである。</p>
委員	<p>基幹相談支援センターへの期待がかなり大きいと感じた。相談窓口は分かりやすいことが大きな目的であるので、広報や周知の工夫が必要と思っている。</p> <p>相談を受ける中で、教育との連携が難しいと感じている。学校の中では、特別支援教育コーディネーターの先生方が体制を作っているが、卒業後の教育機関から社会に出るときの、移行期のスムーズな連携が確立できていない状況がある。その仕組みを作っていくことが、ライフステージに応じた支援のあり方の箇所において、重要な課題であると感じている。</p>
委員	<p>難病について、事業になったときに埋もれてしまっている印象を受けて仕方がない。</p> <p>難病のサービスの利用状況が低いことで愕然とした。難病の方はサービス内容を見てもどのようなことをしてもらえるのかが分かっていないと思う。講演会等についても、病気の最新治療法やドクターからの講義という講演会はよく行うが、社会資源の利用についての広報の部分の講演という内容に関しては詳しいものも少なく、どこに聞けばよいのかを分かっていない患者会も多いように思う。そのため、ぜひ、啓発を行えるような具体的な事業を挙げさせていただきたい。</p>
委員	<p>先日とある学園の学園祭に行った。一般の方も来ていたが、もっと来やすいように市政だより等で広くPRすればいいのではないかと思う。</p>
委員	<p>基幹相談支援センターについて、ひとつ提案したいのは、サービス利用計画の適切な実施である。ケアマネジメントの手法を身に付けた専門的な相談支援者が、いかに育っていくかがとても重要と思う。</p> <p>それから、精神障害のある人への地域生活支援の施策が不足しているというところで、施策の方向性3の(5)にうたわれていることに安心した。</p>
障害福祉課長	<p>委員の皆様からいただいた意見について、分かる範囲でお答えさせていただく。</p> <p>「検討する」という表現が多くなっているという意見をいただいたが、計画の性質上、調整ごともあるという前提で「検討する」という表現が多くなっていることについて、ご理解いただきたい。</p> <p>基幹相談支援センターについては、いろいろとご期待いただいている。仕組みづくりについては、地域生活支援センターも含めて調整中のため、分か</p>

り次第、お示しをさせていただきたいと思っている。

工賃アップの取り組みについては、「一丁目の元気」をはじめとした支援の継続、それから、工賃アップの仕組みということで、今後、施策を検討していきたいと思っている。

それから、知的障害のある方と身体障害のある方で、市役所の今後の受け入れ態勢のことについてご意見があった。知的障害に焦点を当てたのは、一般事務職への就職希望が知的の方は増えているが、実習の受け入れ企業が少ないため、市役所での一般事務の短期実習を受け入れることで、企業への就職の促進を図るということである。

難病の方については、「難病相談・支援センター」の難病の方への周知ということで、難病の方についても、区役所に相談に来たり申請を行うので、その際に、各種難病の方に対しパンフレットを配布するというのを今後やっていきたい。

精神障害者の方の差別と偏見をなくすための広報について、テレビやラジオ等を利用しての広報についても、いろいろな媒体を使って広報ができるように今後調整をしていきたいと思っている。

発達障害の方が精神障害の中に入ったということについて、書き込めないかという点について、少し検討をさせていただきたい。

それから基幹相談支援センター相談員の配置をするというふうに言い切っただけという点についても、調整等もあって「検討する」ということで表現を統一させていただければと思う。

重症心身障害者の方の記載については、知的、身体、精神ということできくりをさせていただいたので、その中で読み込みをしていただければと思う。

学校卒業後の移行の支援について、移行がスムーズにできていないという点についても、教育委員会とどういう形でスムーズに移行計画が策定できるか協議しているところである。

障害者団体が実施している行事については、今後も可能な限り行政として、足を運びたいと考えているし、市政だよりの掲載等についても、市と共催ができるような事業については、積極的に広報してまいりたい。

ケアマネの養成については、今後、国が3年かけて全障害のサービスを受ける方に計画を作っていくという方向性だけは示しているが、具体的にどう

	<p>いうふうにやっていくのかというのはまだ示されていない。新規事業としてケアマネの養成を考えているが、人材育成について、今後努めていければと考えている。</p>
<b>部会長</b>	<p>ありがとうございました。今回で、部会は最後になる。本日出された意見や意見シートでご提案いただいたものについては、事務局と協議の上、一任させていただきたい。</p>
<b>委員</b>	<p>異議なし</p>
<b>部会長</b>	<p>ご了解いただきありがとうございます。それでは本日の（次期）北九州市障害者支援計画策定委員会支援体制整備部会を閉会とする。</p>